

認定薬局について



©2014 大阪府もずちゃん

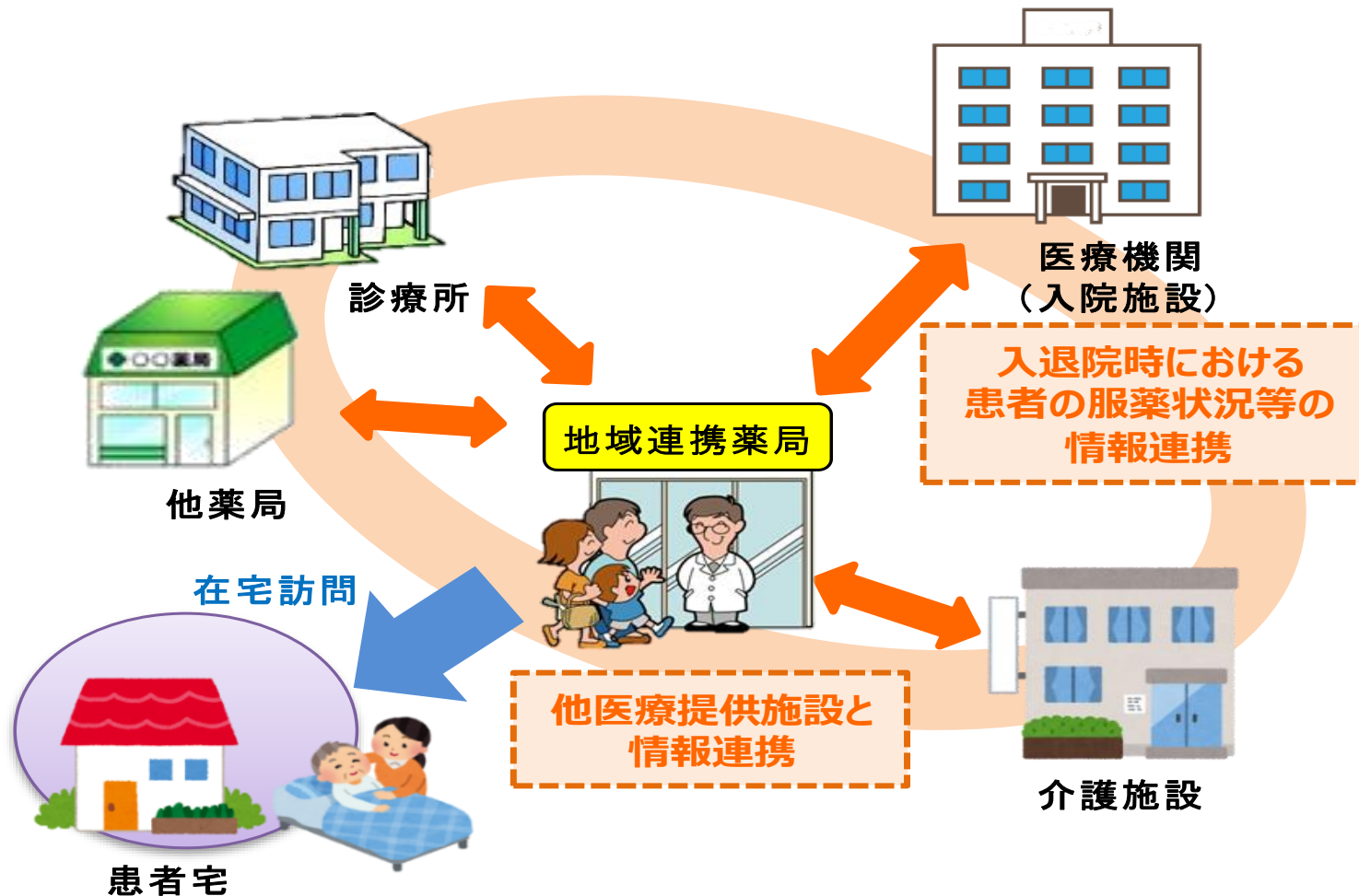
令和6年12月16日（月）
令和6年度 大阪府三島薬事事部会
大阪府健康医療部生活衛生室薬務課
医薬品流通グループ

はじめに

- 令和3年8月1日より認定薬局制度が開始され、3年が経過しました。
- 地域包括ケアシステムを担う一員として、地域連携薬局及び専門医療機関連携薬局（認定薬局）は、地域医療の質の向上に貢献することが期待されています。

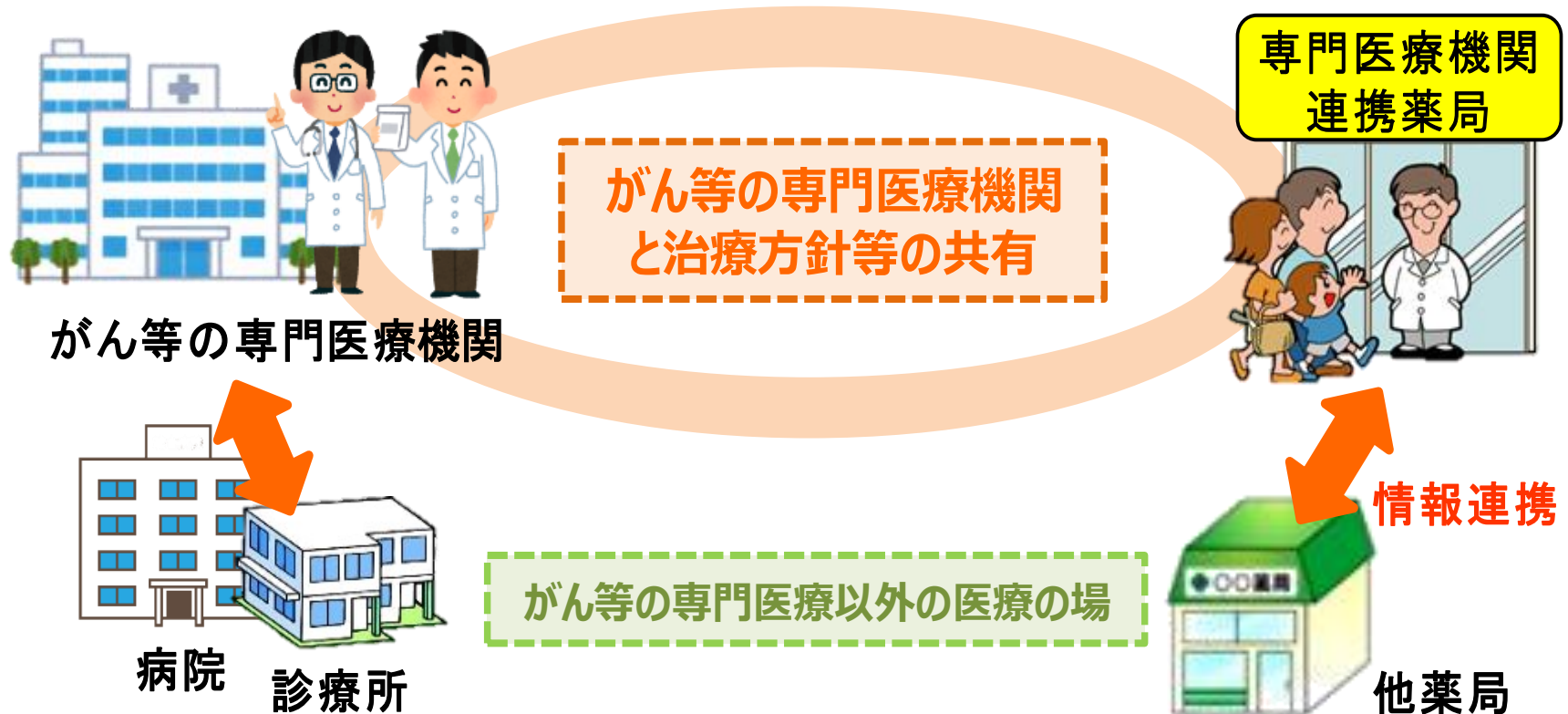
地域連携薬局

入退院時の医療機関等との情報連携や在宅医療等に、地域の薬局と連携しながら一元的・継続的に対応できる薬局



専門医療機関連携薬局

他医療提供施設と連携してがん等の専門的な薬学管理に対応できる薬局



認定要件の概要

- (1) 患者が安心して相談しやすい環境
プライバシー等への配慮した構造設備 等
- (2) 医療提供施設（医療機関、薬局等）との連携体制
地域ケア会議や退院時カンファレンス等への参加など、
関係機関と情報共有する体制 **【情報提供の実績も必要】**
- (3) 地域でいつでも相談や調剤に対応できる体制
時間外の相談対応、休日・夜間の調剤対応、地域のD I 室 等
- (4) 高い能力を持つ薬剤師が患者に継続して関わるための体制
 - ・ **地域包括ケアシステム研修修了薬剤師／がんの専門性を有する薬剤師の配置**
 - ・ **常勤薬剤師の配置**
- (5) 在宅医療への対応＜地域連携薬局のみ＞
麻薬、無菌調剤及び医療機器・衛生材料を提供する体制の整備
【居宅等における調剤並びに情報の提供及び薬学的知見に基づく指導の実績】

目指すべき方向

令和3年度 第1回大阪府薬事審議会において審議

○地域包括ケアシステムを担う一員として認定薬局が地域医療の質の向上に貢献する。

* 大阪府では厚生労働省の想定軒数に準じた認定軒数を目指す。

地域連携薬局 : 日常生活圏域(中学校区)ごとに少なくとも1薬局以上

専門医療機関連携薬局 : 二次医療圏ごとに少なくとも1薬局以上

府民・関係機関、薬局に向けた取組みについて

(1) 府民・関係機関への周知

- ・ 認定薬局の役割や活用するメリットを周知（HPの作成、啓発資材等の配布）
- ・ 認定薬局を検索できるサイトを整備

(2) 薬局への支援

- ・ かかりつけ薬剤師・薬局の機能強化に係る事業の好事例を共有
- ・ 医療機関と薬局の連携及び在宅での服薬指導等に関する研修

地域連携薬局数（全国）

全数 4,300（令和6年7月31日時点）

北海道	189	東京都	666	滋賀県	49	徳島県	27
青森県	30	神奈川県	378	京都府	130	香川県	49
岩手県	30	新潟県	85	大阪府	308	愛媛県	37
宮城県	90	山梨県	16	兵庫県	181	高知県	20
秋田県	23	長野県	67	奈良県	33	福岡県	126
山形県	27	富山県	35	和歌山県	15	佐賀県	9
福島県	76	石川県	38	鳥取県	24	長崎県	34
茨城県	152	岐阜県	52	島根県	15	熊本県	37
栃木県	60	静岡県	138	岡山県	53	大分県	33
群馬県	59	愛知県	154	広島県	107	宮崎県	22
埼玉県	255	三重県	72	山口県	28	鹿児島県	39
千葉県	212	福井県	13			沖縄県	7

地域連携薬局数（大阪府）

全数 308（令和6年7月31日時点）

大阪市	106	守口市	4	松原市	6	忠岡町	0
堺市	37	枚方市	12	羽曳野市	3	泉佐野市	3
豊中市	13	寝屋川市	6	藤井寺市	3	泉南市	0
池田市	7	大東市	2	大阪狭山市	3	阪南市	2
吹田市	23	門真市	4	太子町	0	熊取町	2
箕面市	7	四條畷市	1	河南町	0	田尻町	1
豊能町	0	交野市	1	千早赤阪村	0	岬町	0
能勢町	0	八尾市	8	岸和田市	3	(参考)管轄別件数 薬務課 153 茨木HC 79 守口HC 30 藤井寺HC 29 泉佐野HC 17	
高槻市	15	柏原市	3	貝塚市	1		
茨木市	10	東大阪市	10	泉大津市	0		
摂津市	3	富田林市	1	和泉市	3		
島本町	1	河内長野市	2	高石市	2		

※ 青字は保健所設置市

地域連携薬局数の推移（豊能・三島圏域）

圏域	市区町村	中学校 区数※	R3.8.1	R4.3.31	R4.7.31	R5.3.31	R5.7.31	R6.3.31	R6.7.31	充足率	人口 10万対
大阪府全体		458	58	179	207	261	264	293	308	67.2%	3.5
豊能		52	8	22	31	43	43	45	50	96.2%	4.7
	豊中市	17	3	7	10	13	13	12	13	76.5%	3.3
	池田市	5	2	4	5	8	7	7	7	140.0%	6.7
	吹田市	19	3	10	14	18	19	20	23	121.1%	5.9
	箕面市	8	0	1	2	4	4	6	7	87.5%	5.1
	豊能郡豊能町	2	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0
	豊能郡能勢町	1	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0.0
三島		39	4	10	12	19	21	25	29	74.4%	3.8
	高槻市	18	3	3	5	8	10	12	15	83.3%	4.3
	茨木市	14	0	3	4	7	7	9	10	71.4%	3.4
	摂津市	5	1	3	2	3	3	3	3	60.0%	3.4
	三島郡島本町	2	0	1	1	1	1	1	1	50.0%	3.3

※ 中学校区数は、公立中学校（義務教育学校(後期課程)を含む）の数

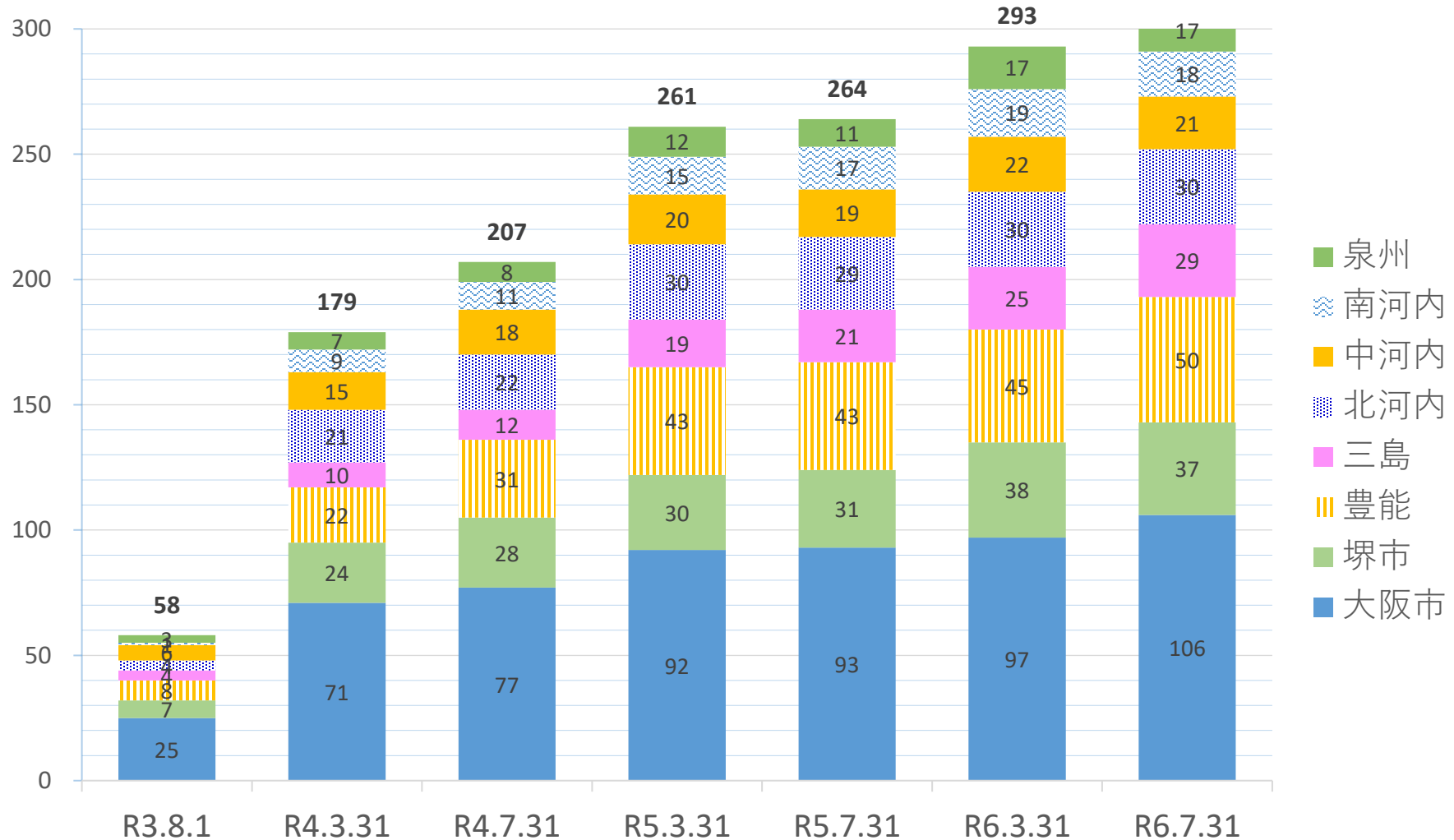
（出典）大阪府内市区町村別人口：令和5年度大阪府統計年鑑(令和5年10月1日時点)

令和6年度 公立中学校・義務教育学校（後期課程）一覧表

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o180080/shochugakko/jyuusho/index.html>

地域連携薬局の件数推移

地域連携薬局数の推移（二次医療圏別）



専門医療機関連携薬局数（全国）

全数 201（令和6年7月31日時点）

北海道	15	東京都	17	滋賀県	5	徳島県	1
青森県	1	神奈川県	18	京都府	3	香川県	1
岩手県	1	新潟県	1	大阪府	16	愛媛県	2
宮城県	6	山梨県	0	兵庫県	6	高知県	0
秋田県	0	長野県	6	奈良県	0	福岡県	8
山形県	4	富山県	1	和歌山県	0	佐賀県	2
福島県	1	石川県	2	鳥取県	0	長崎県	5
茨城県	8	岐阜県	2	島根県	1	熊本県	3
栃木県	5	静岡県	4	岡山県	4	大分県	1
群馬県	3	愛知県	11	広島県	3	宮崎県	0
埼玉県	13	三重県	4	山口県	2	鹿児島県	3
千葉県	11	福井県	0			沖縄県	1

専門医療機関連携薬局数（大阪府）

全数 16（令和6年7月31日時点）

大阪市圏域 5 北部：都島区 1 西部：西淀川区 1 東部：中央区 2 南部：阿倍野区 1	北河内圏域 1 守口市 1 中河内圏域 1 八尾市 1
堺市圏域 3 堺区 1、北区 1、西区 1	南河内圏域 1 富田林市 1
豊能圏域 1 吹田市 1	泉州圏域 0
三島圏域 4 高槻市 3、茨木市 1	(参考)管轄別件数 薬務課：8 茨木HC：5 守口HC：1 藤井寺HC：2 泉佐野HC：0

大阪府内の認定薬局リスト

★府内の地域連携薬局・専門医療機関連携薬局の
最新リストは下記のホームページに掲載しています！



[https:// www.pref.osaka.lg.jp/o100100/yakumu/index.html](https://www.pref.osaka.lg.jp/o100100/yakumu/index.html)

令和6年度の取組み状況

【薬局への支援】

- ・立入調査の際に、認定薬局の周知チラシを配布
- ・大阪府薬剤師会が主催する講習会（令和7年1月18日開催予定）において、府内の認定状況等について紹介

【府民への周知・広報】

- ・大阪府ホームページで認定薬局制度の紹介や認定薬局リストの掲載等
- ・「薬と健康の週間」での啓発資材(ウェットティッシュ)の配布(10月20日)
- ・大阪府消費者フェアでの広報(web開催 10月18日～11月11日)
- ・大阪府民のための健康アプリ「アスマイル」を活用したPR
コラム掲載（10月3日）
アンケート実施（10月31日～11月11日）

【関係機関への周知・広報】

- ・薬事懇話会での認定状況等の説明（堺市、豊能、三島、北河内、中／南河内、泉州予定含む）
- ・大阪府訪問看護ステーション協会の運営委員会で認定薬局について紹介し、府内全訪問看護ステーション2000件に周知のチラシを配布

【その他】

- ・今後の認定薬局の活用促進に向けた方策や課題の解決策を検討を目的とし、地域連携薬局の認定を受けている薬局に対してアンケート調査を実施

令和6年度大阪府地域連携薬局実態アンケート調査

【目的】

地域連携薬局の立場から、実際の認定薬局の置かれている状況を調査し、認定を受けた後に得られたことや、地域で求められている役割・機能等の実態を把握することにより、今後の認定薬局の活用促進に向けた方策や課題の解決策の検討

【対象者】

令和6年6月末時点で大阪府内で地域連携薬局の認定を受けている薬局（307件）

【実施時期】

令和6年7月23日から令和6年8月31日まで

【調査方法】

大阪府行政オンラインシステムにより回答

【回答数】

203件（回答率66.1%）

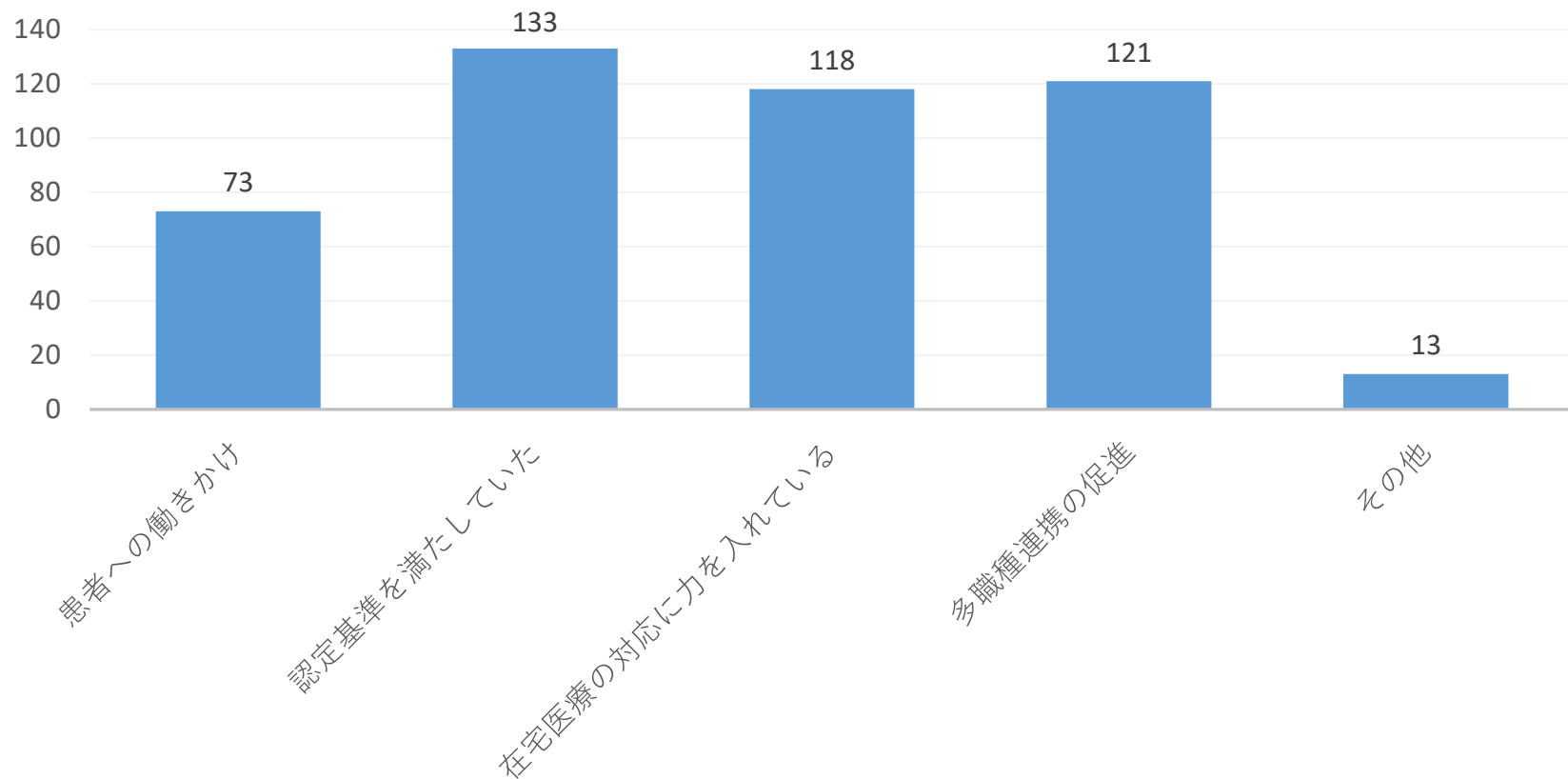
アンケート調査項目

- ①認定を受けようとした動機
- ②地域連携薬局の認定表示をした後の患者等からの反応
- ③②以外で認定を受けた後の変化
- ④認定薬局が求められている役割・機能
- ⑤在宅医療への参画のきっかけ
- ⑥認定を受けるにあたって苦慮した基準
- ⑦その他認定薬局に対しての意見

アンケート回答結果①

【認定を受けようとした動機】

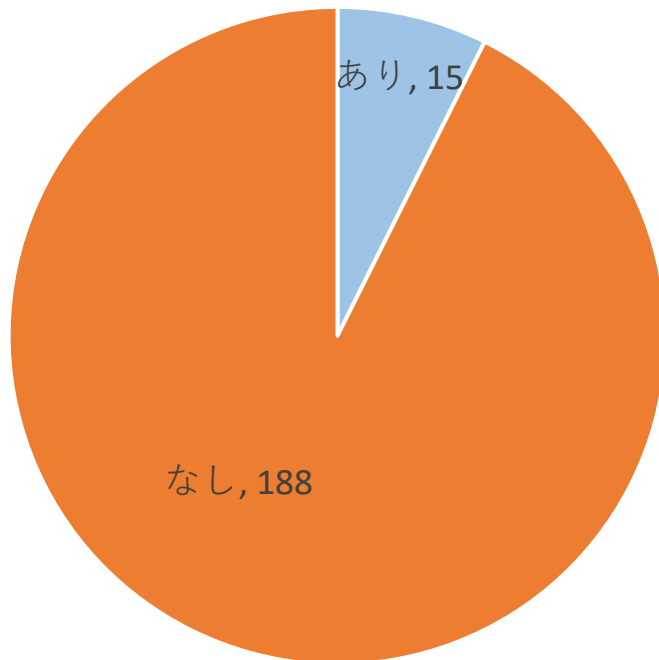
動機は、認定基準をみたしていたが133件と最も多く、多職種連携の促進121件、在宅医療の対応に力を入れている118件、患者への働きかけ73件、その他13件であった。



アンケート回答結果②

【地域連携薬局の認定表示をした後の患者等からの反応】

ありが15件（7.4%）、なしが188件（92.6%）であった。



ありの意見

- ・ 患者から認定薬局についての説明を求められた。
- ・ 他職種の方から高く評価していただいた。

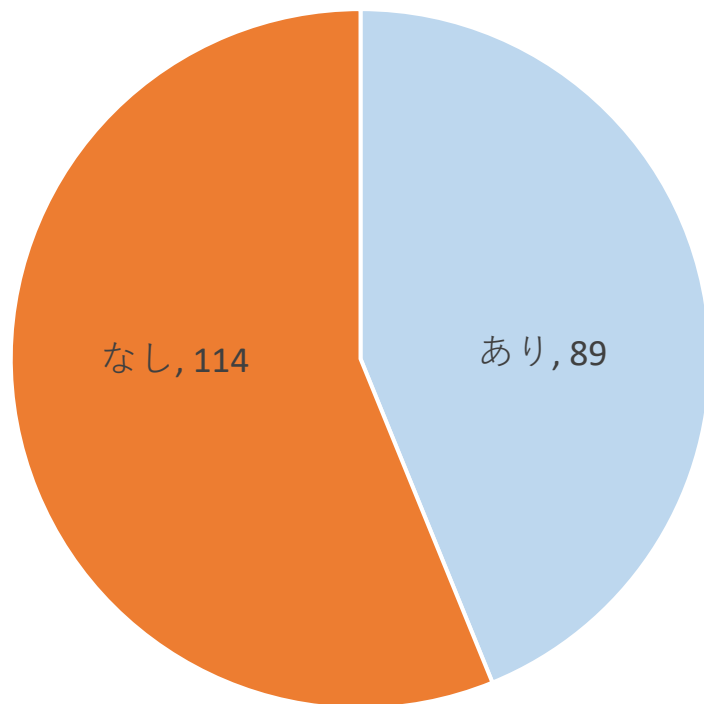
なしの意見

- ・ 認定薬局自体の認知度が低い。
- ・ 薬局内は掲示物が多いため気づかれない。

アンケート回答結果③

【認定を受けた後の変化】

ありが89件（43.8%）で、なしが114件（56.2%）であった。



ありの意見

- ・ 認定を受けたことにより、勤務する薬剤師がこれまで以上に意識をしながら働くようになった。
- ・ 多職種との連携を意識するようになり、連携が取りやすくなった。
- ・ 在宅患者だけでなく、外来患者の生活面に対しても深く注意を向けるようになった。

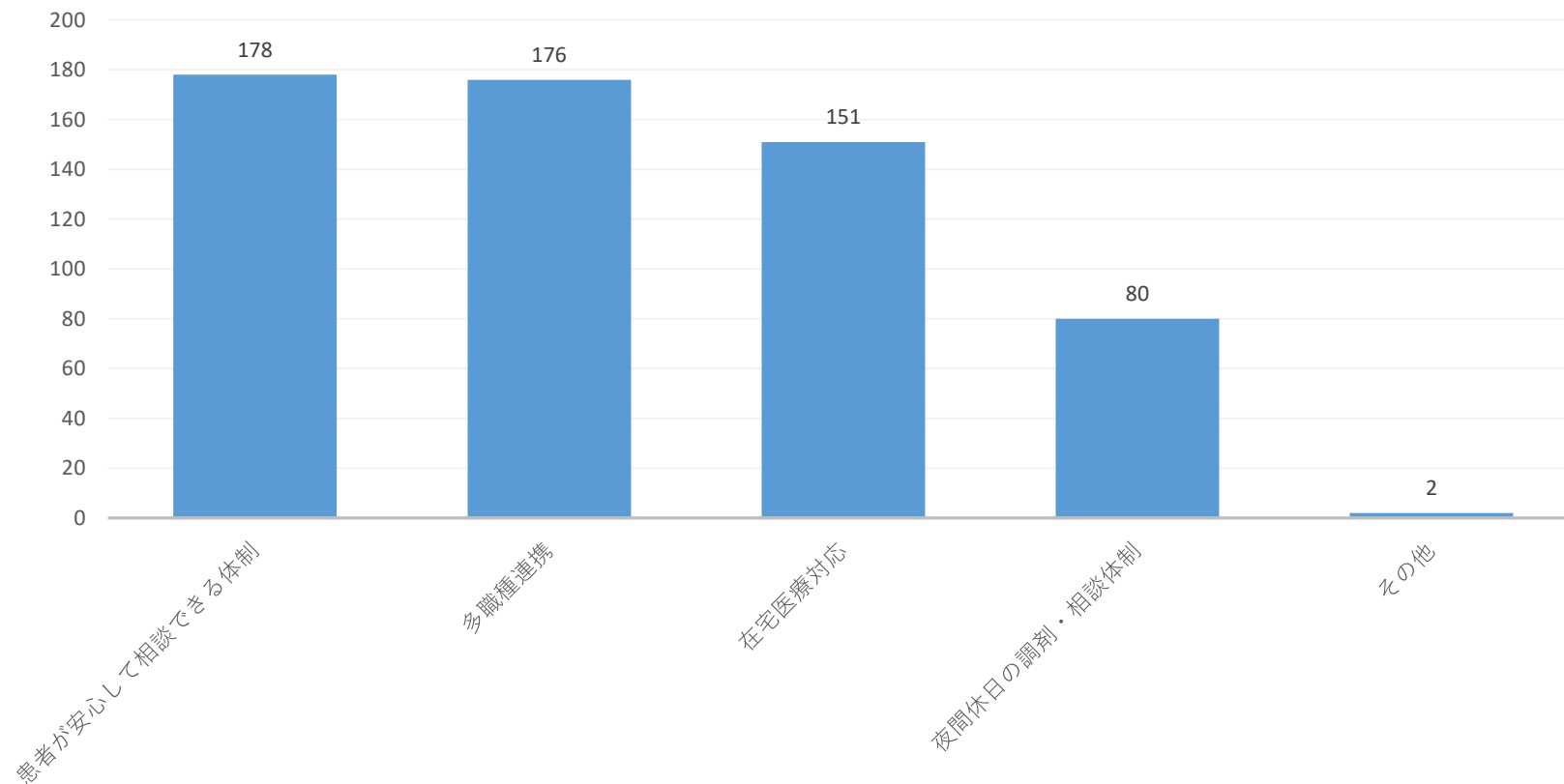
なしの意見

- ・ 認定を受ける前から日常業務で行ってきたことが多かったので、受けたことにより変わったことはない。

アンケート回答結果④

【認定薬局が求められている役割・機能】

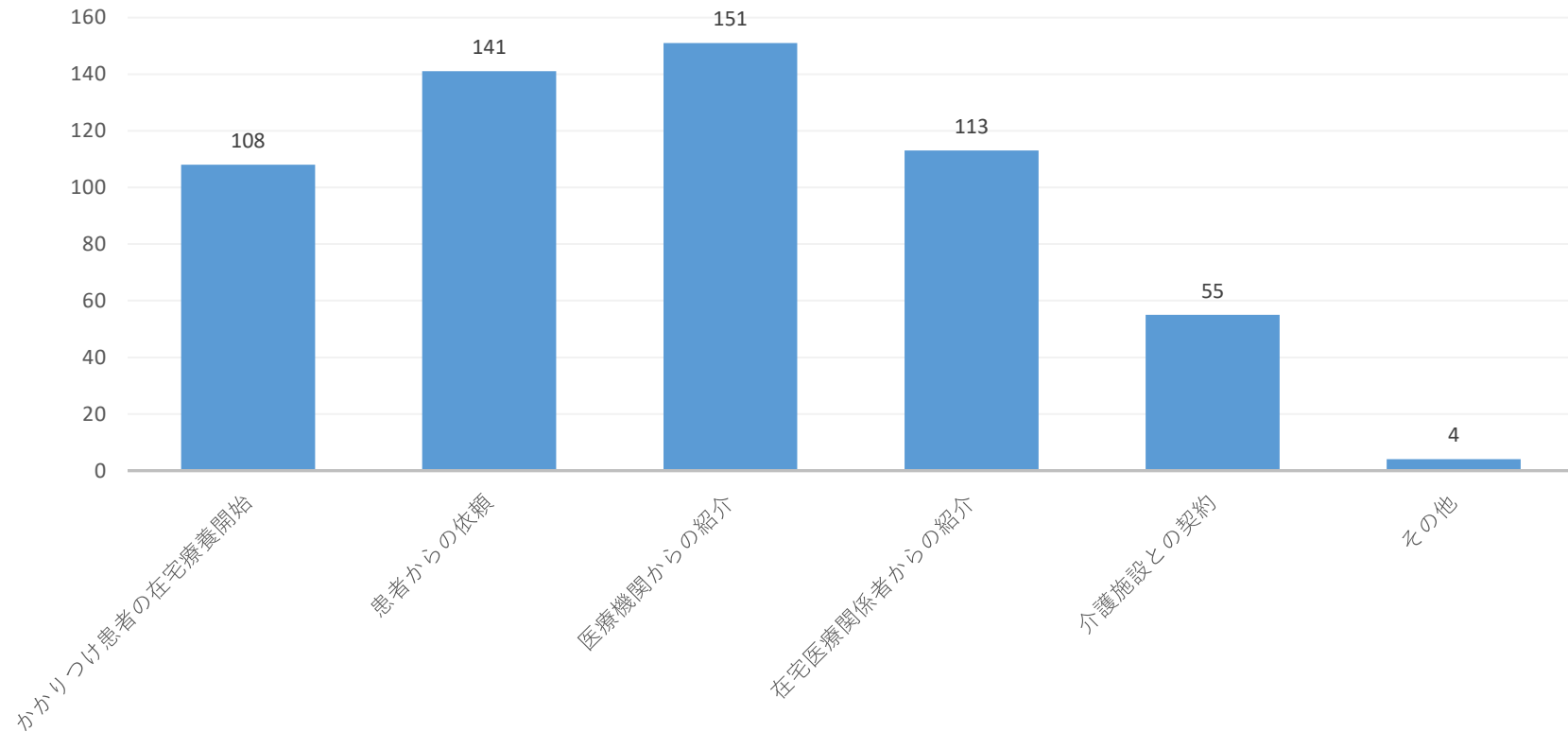
患者が安心して相談できる体制が178件と最も多く、多職種連携が176件、在宅医療対応が151件、夜間休日の調剤・相談体制が80件、その他が2件であった。



アンケート回答結果⑤

【在宅医療への参画のきっかけ】

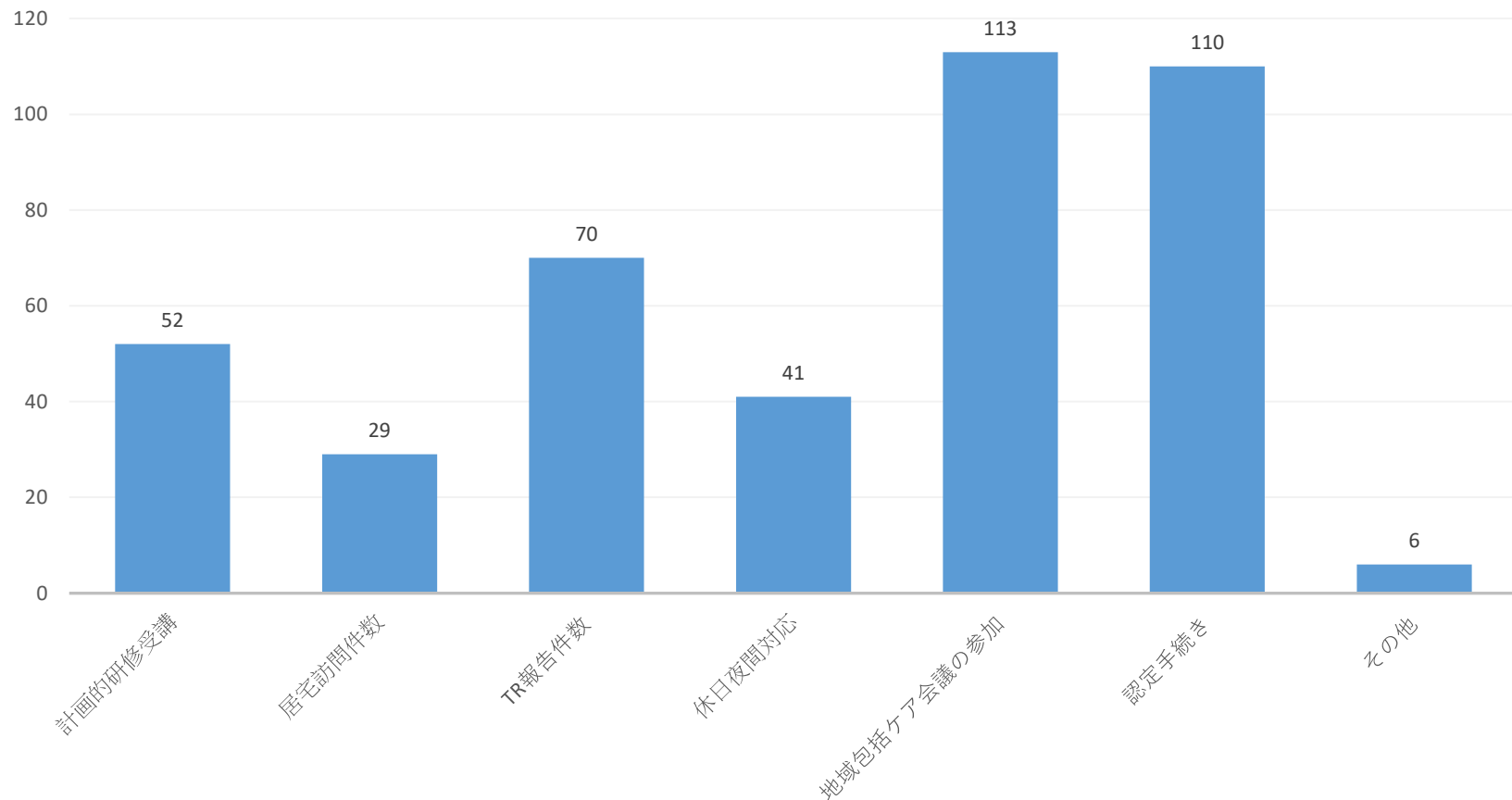
医療機関からの患者紹介が151件で最も多く、患者からの依頼141件、在宅医療関係者からの紹介113件、かかりつけ患者の在宅療養開始108件、介護施設との契約55件、その他4件であった。



アンケート回答結果⑥

【認定を受けるにあたって苦慮した基準】

地域包括ケア会議等の参加が113件で最も多く、認定手続き110件、トレーニングレポート（TR）報告件数70件、計画的な研修受講52件、休日夜間対応41件、居宅訪問件数29件、その他6件であった。



【その他認定薬局に対しての意見】

- ・地域連携薬局の認定期間が1年間と短く、毎年更新の手続きをしないといけないのが大変負担だが、地域連携薬局に対する認知度が低く、今後も認定を更新すべきか悩んでいる。
- ・認定期間が1年が短いと感じる。毎年の申請の準備や提出等が業務負担になっている。また、取得している薬局に対して、取得していない薬局との明確な差（報酬や待遇、特別な業務を行える等）を付与してもらいたい。
- ・健康サポート薬局、地域連携薬局、地域支援体制加算など、よく似た認定要件が多いので違いがわかってもらいにくい。もう少し制度内容を簡潔にして欲しい。
- ・地域ケア会議やサービス担当者会議へもっと積極的に参加したいが、ケアマネージャーさんや事務所へお電話しても参加のご予定が合わないことが多々ある。介護関係者と医療関係者が今後もっと連携して動いていけたらと期待しているため、多職種連携会議や地域支援の対象の研修を企画してもらいたい。

アンケート調査結果から見た課題

【認定薬局の認知度】

患者や医療従事者の認定薬局に対する認知度が低く、薬局内に認定を受けている旨の表示をしていても周囲からの反応がないことが多い。

【認定を受けることのメリット】

勤務している薬剤師の意識向上や多職種との連携が強まったなどのメリットが上げられるが、認定を受けている薬局と受けていない薬局の優位差が現場ではあまり感じられていない。

【認定を継続する際のハードル】

毎年の更新申請手続きが負担と感じている薬局が多い。また地域包括ケア会議やサービス担当者会議等への参加が難しいと感じている薬局が多く、認定薬局でも多職種連携が今後の課題となっている。

アンケート調査結果を受けての対応策

【認定薬局の認知度の向上】

- ・引き続き認定薬局についての啓発資材を作成し、薬局だけでなく府民、医療従事者、在宅医療関係団体へ配布する。
- ・もずやんXなどのSNSを活用し、幅広い人を対象に認定薬局についてのPRを行う。

【認定を受けることのメリットの発信】

- ・大阪府ホームページにて認定薬局の一覧を掲載することに加えて、地域連携に力を入れて取り組んでいる薬局として好事例紹介等を行う。
- ・認定を受けることにより薬剤師の意識向上や多職種との連携が強まった具体例など発信し、メリットを周知していく。

【認定継続のための支援】

- ・申請手続きについて見直しを進め、大阪府ホームページにより分かりやすい申請手引きの掲載等を行い、手続きを明瞭化する。
- ・地域包括ケア会議やサービス担当者会議等への参加となっていくよう多職種連携の研修等を開催を後押しして、多職種間でのネットワークの構築を図る。

これからの課題

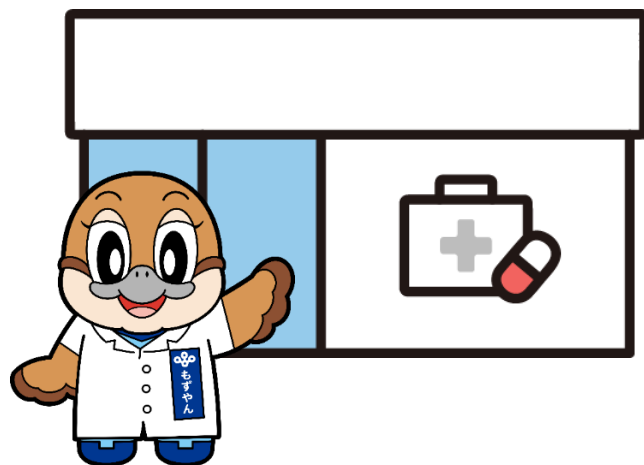
- 大阪府では、認定薬局のさらなる推進と制度周知に取り組んでいるところです。
- 地域の薬事懇話会において、薬局が認定を取得する際のハードルや必要な支援、府民・医療介護関係者の認定薬局制度に対する認知度など、これからの課題についてご意見をいただきたいと考えております。



気軽に相談！

かかりつけ薬剤師・薬局

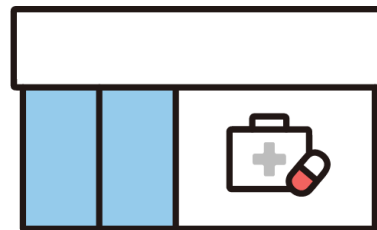
普段から何でも相談できる
「かかりつけ薬局」をお持ちですか？



薬局は、薬や健康のことを
なんでも相談できる
あなたのパートナーです



かかりつけ薬局って
どうやって選ぶの？



薬局にはいろんなタイプがあるよ たとえば

健康サポート薬局

地域連携薬局

専門医療機関連携薬局

『医療情報ネット（ナビイ）』で

自分にあった機能の薬局を探してみよう！

医療情報ネット

検索



こちらのQRコードは
医療情報ネットの大阪府
ページにつながります。

健康サポート薬局

市販薬や健康食品・サプリ、介護や福祉、食事・睡眠・禁煙のような生活習慣など、セルフケアやセルフメディケーションを支援します。地域の皆様が、薬や健康に関して気軽に相談できる薬局です。



健康サポート薬局

お薬の処方がなくとも
健康でいるための支援を
してくれる！

- ・週末も開局
- ・プライバシーに配慮 安心して相談できます
- ・処方箋がなくてもいつでも相談可能
- ・フレイル予防や禁煙相談
健康イベント開催
- ・介護用品、市販薬・サプリご相談ください
- ・健康サポート専門の研修を受けた
薬剤師がいます

etc.

地域連携薬局

外来での受診から医療機関への入院、さらには退院後の自宅や介護施設等での在宅医療を受ける際の訪問対応まで、お薬のことについて医療や介護の関係施設と連携しながら、患者さんを支えていく薬局です。



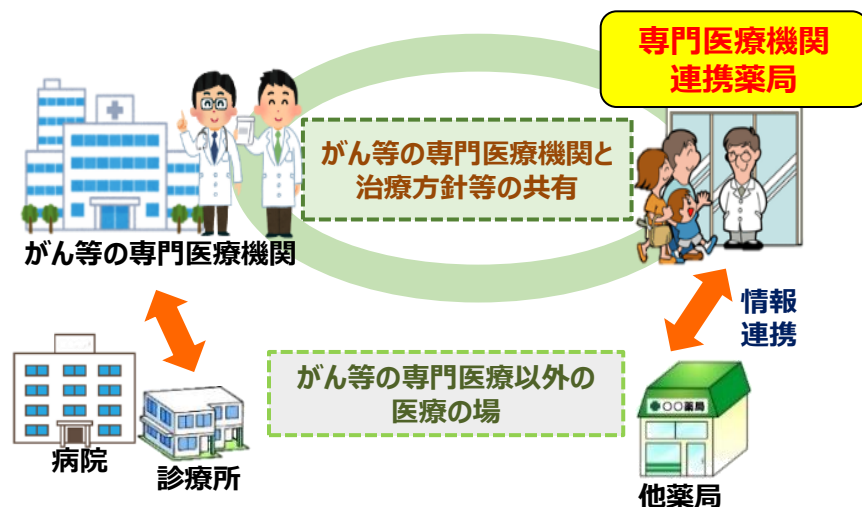
- ・いつでも **相談・調剤** できます
- ・プライバシーに配慮 **安心して相談** できます
- ・車椅子も安心 **バリアフリー対応**
- ・**地域の医療介護施設としっかり連携**
- ・地域の医療関係者にお薬情報を発信
(地域の**DI室機能**)
- ・充実した**在宅訪問**の実績
- ・高度な**医療機器**や**緩和ケア**のお薬
ご用意します
- ・注射剤の**無菌調製**もおまかせ！

etc.

患者さんの療養環境が変わっても
とぎれることなく対応！

がんの 専門医療機関連携薬局

がん治療の専門医療機関と治療方針などを共有し、専門性の高い薬学的管理を行うことで、抗がん剤などのお薬を使用している患者さんを支えていく薬局です。



- ・いつでも **相談・調剤** できます
- ・プライバシーに配慮 **個室で相談** できます
- ・車椅子も安心 **バリアフリー対応**
- ・認定を受けた **がん専門薬剤師** がいます
- ・がんによる痛みの **緩和ケア** のお薬をご用意
- ・**がん専門医療機関としっかり連携**

etc.

がんの患者さんを
専門的な薬学管理機能でサポート！

薬剤師 に 相談しましょう

ジェネリック
医薬品のことを
聞きたいな



吸入薬を上手に
服用するコツを教えて！

飲み忘れたり飲みにくい薬が
あって薬が残ってしまう…
どうしたらいいかな？



このお薬は
いつものサプリと
一緒に飲んでも
だいじょうぶ？



市販薬（OTC医薬品）は
今飲んでる薬と一緒に
飲めるの？



今飲んでる薬の種類が
増えてきたので、薬を
まとめられないかな？



「健康サポート薬局」「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」の探し方

- 薬局の掲示を見る
「健康サポート薬局」のロゴマーク



「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」の掲示

- 大阪府のホームページで「健康サポート薬局」「地域連携薬局」「専門医療機関連携薬局」の一覧を見る

かかりつけ薬剤師・薬局について 大阪府

検索



- 医療情報ネット（ナビイ）で調べる

医療情報ネット

検索



薬局機能情報提供制度について

- ◆ 薬局機能情報提供制度とは、患者が薬局を適切に選択するために、薬局開設者が薬局に関する情報を報告することです。
(医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第8条の2)
薬局開設許可を取得したら、医療機関等情報支援システム(G-MIS：ジームス)により報告を行います。報告された情報は「医療情報ネット(ナビイ)」で公表します。
- ◆ 医療機関等情報支援システム(G-MIS)による報告には次の種類があります。
 - 新規報告…新たに薬局開設許可を取得した時に報告。移転、経営者変更等による許可の取り直しの場合も新規報告となります。
 - 随時報告…報告内容に変更があった場合に報告。薬局開設許可を廃止した場合も随時報告で廃止日を報告してください。
 - 定期報告…毎年1月から報告期限内に、前年12月31日時点の情報(実績)を報告。必ず毎年報告が必要です。

手続きの詳細は、大阪府ホームページに「薬局機能情報提供制度について」を掲載しています。

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100100/yakumu/kouhyo-system/index.html>

大阪府 薬局機能情報

検索

クリック



スマートフォンからは↑

大阪府からのお知らせ

～ 地域別ジェネリック医薬品等使用実績リストを公開しています ～



地域別ジェネリック等フォーミュラ関連医薬品使用実績リスト①

【目的】

- 診療所等や薬局においてジェネリック医薬品を採用する際の参考にしていただく。
- フォーミュラを検討する際の参考にしていただく。

【内容】

国民健康保険及び後期高齢者医療の府内の調剤レセプトデータをもとに11医療圏別(※)ジェネリック医薬品等使用実績リストを作成、公表（大阪府ホームページ（HP）に掲載）

（★R5より**地域（郡市区）別**は、フォーミュラに関連する先発医薬品も含む使用実績リストにバージョンアップ）

●大阪府HP URL

<https://www.pref.osaka.lg.jp/o100100/yakumu/generic/jigyo.html>

※11医療圏

- 1 豊 能： 池田市、箕面市、豊中市、吹田市、豊能町、能勢町
- 2 三 島： 摂津市、茨木市、高槻市、島本町
- 3 北河内： 枚方市、寝屋川市、守口市、門真市、大東市、四條畷市、交野市
- 4 中河内： 東大阪市、八尾市、柏原市
- 5 南河内： 松原市、羽曳野市、藤井寺市、富田林市、河内長野市、大阪狭山市、河南町、太子町、千早赤阪村
- 6 堺 市
- 7 泉 州： 和泉市、泉大津市、高石市、岸和田市、貝塚市、泉佐野市、泉南市、阪南市、忠岡町、熊取町、田尻町、岬町
- 8～11 北部・西部・東部・南部 基本保健医療圏(大阪市)

地域別ジェネリック等フォーミュラリ関連医薬品使用実績リスト②

医薬品実績リスト

圏域：三島

調剤年月 令和02年01月 ～ 令和02年12月

NO	医薬品名	メーカー名	一般名処方の標準的な記載	薬価	数量	使用率	薬価基準掲載 医薬品コード	薬効分類 コード
1	先発 ソラナックス0.4mg錠	ファイザー	【般】アルプラゾラム錠0.4mg	7.50	381,391	35.9%	1124023F1037	112
	コンスタン0.4mg錠	武田薬品		7.50	99,780	9.4%	1124023F1029	
	後発 アルプラゾラム錠0.4mg「サワイ」	メディサ新薬		5.70	246,814	23.3%	1124023F1010	
	アルプラゾラム錠0.4mg「トーワ」	東和薬品		5.70	175,582	16.5%	1124023F1010	
	アルプラゾラム錠0.4mg「アメル」	共和薬工		5.70	157,522	14.8%	1124023F1010	
2	先発 ソラナックス0.8mg錠	ファイザー	【般】アルプラゾラム錠0.8mg	12.60	16,096	53.2%	1124023F2033	112
	コンスタン0.8mg錠	武田薬品		12.20	168	0.6%	1124023F2025	
	後発 アルプラゾラム錠0.8mg「サワイ」	メディサ新薬		6.20	7,900	26.1%	1124023F2017	
	アルプラゾラム錠0.8mg「トーワ」	東和薬品		6.20	6,120	20.2%	1124023F2017	
	ユーロジン1mg錠	武田薬品		7.80	49,382	57.9%	1124001F1022	
3	後発 エスタゾラム錠1mg「アメル」	共和薬工	【般】エスタゾラム錠1mg	5.90	35,963	42.1%	1124001F1014	112
4	先発 ユーロジン2mg錠	武田薬品	【般】エスタゾラム錠2mg	12.40	85,575	63.1%	1124001F2029	112
	後発 エスタゾラム錠2mg「アメル」	共和薬工		9.70	50,082	36.9%	1124001F2010	
5	先発 ドラール錠15 15mg	久光製薬	【般】クアゼパム錠15mg	78.30	9,975	41.2%	1124030F1029	112
	クアゼパム錠15mg「アメル」	共和薬工		31.60	4,902	20.3%	1124030F1010	
	クアゼパム錠15mg「サワイ」	沢井製薬		31.60	4,226	17.5%	1124030F1010	
	クアゼパム錠15mg「YD」	陽進堂		31.60	2,348	9.7%	1124030F1010	
	クアゼパム錠15mg「トーワ」	東和薬品		41.30	1,520	6.3%	1124030F1061	
	その他			~41.30	1,218	5.0%		
	先発 ドラール錠20 20mg	久光製薬		92.60	5,497	43.4%	1124030F2025	
6	クアゼパム錠20mg「YD」	陽進堂	【般】クアゼパム錠20mg	39.10	5,879	46.4%	1124030F2017	112
	クアゼパム錠20mg「アメル」	共和薬工		39.10	643	5.1%	1124030F2017	
	クアゼパム錠20mg「サワイ」	沢井製薬		39.10	469	3.7%	1124030F2017	
	クアゼパム錠20mg「トーワ」	東和薬品		48.90	130	1.0%	1124030F2050	
	その他			~48.90	49	0.4%		
	先発 セルシン散1%	武田薬品	【般】ジアゼパム散1%	14.50	3,524	45.8%	1124017B1129	112
7	後発 ホリゾン散1%	丸石製薬		13.70	660	8.6%	1124017B1145	
8	後発 ジアゼパム散1%「アメル」	共和薬工	【般】ジアゼパム錠2mg	6.30	3,513	45.6%	1124017B1137	112
	先発 2mgセルシン錠	武田薬品		6.00	155,005	51.8%	1124017F2135	
	ホリゾン錠2mg	丸石製薬		6.00	1,905	0.6%	1124017F2151	
	ジアゼパム錠2mg「アメル」	共和薬工		5.70	72,581	24.3%	1124017F2194	
	後発 ジアゼパム錠2「トーワ」 2mg	東和薬品		5.70	32,897	11.0%	1124017F2054	
	ジアゼパム錠2「サワイ」 2mg	沢井製薬		5.70	27,727	9.3%	1124017F2046	
	ジアゼパム錠2mg「ツルハラ」	鶴原製薬		5.70	9,125	3.0%	1124017F2216	
9	先発 5mgセルシン錠	武田薬品	【般】ジアゼパム錠5mg	9.40	34,169	38.6%	1124017F4049	112
	ホリゾン錠5mg	丸石製薬		9.40	50	0.1%	1124017F4162	
	後発 ジアゼパム錠5mg「アメル」	共和薬工		5.80	43,313	48.9%	1124017F4200	
	ジアゼパム錠5「トーワ」 5mg	東和薬品		5.80	11,030	12.5%	1124017F4065	
10	先発 アモバン錠10 10mg	サノフィ	【般】ゾピクロン錠10mg	17.70	28,401	52.0%	1129007F2022	112
	ゾピクロン錠10mg「サワイ」	沢井製薬		7.70	23,157	42.4%	1129007F2014	
	後発 ゾピクロン錠10mg「トーワ」	東和薬品		7.70	2,370	4.3%	1129007F2014	
	アモバンテス錠10 10mg	小林化工		7.70	708	1.3%	1129007F2014	

広報資材の提供

大阪府では、**薬局に活用いただくための広報資材**を作成し、
お申込みいただいた薬局に**無料**でお送りしています

薬局の健康イベントや地域活動などに
ぜひご活用ください！

お申込みはこちらの

二次元コードから



【大阪府行政オンラインシステム】



普段から何でも相談できる
「かかりつけ薬局」をお持ちですか？



薬局は、薬や健康のことを
なんでも相談できる
あなたのパートナーです

薬剤師に
相談しましょう



おかげで、薬局（かかりつけ薬剤師）をうまく活用して、健康な生活を送ることができるようになりました。おかげで、健康な生活を送ることができるようになりました。

New かかりつけ薬剤師・薬局等啓発
二つ折りリーフレット（供給状況も掲載）



ジェネリック広報チラシ（両面）

ジェネリック医薬品への疑問に答えます！

○なぜジェネリック医薬品は値段が安い？

☆ジェネリック医薬品の薬価が安いのは、
研究開発費が先発医薬品ほどかからないため
です。新薬開発に要する費用が、1品目
数百億円以上といわれるのに対して、ジェネ
リック医薬品の場合はおよそ数億円程度と
いられています。

○ジェネリック医薬品の効き目は確か？

☆ジェネリック医薬品は先発医薬品と治療学
的に「同等」であり、先発医薬品と代替可能
な医薬品であることを、必要なデータに基づい
て審査を行ったうえで厚生労働大臣が承認
したものが、ジェネリック医薬品として供給
されています。

○ジェネリック医薬品と先発医薬品は完全に
同じ？

☆ジェネリック医薬品は先発医薬品とまったく
同じである必要はありません。有効性や安全
性は同等であることが審査されていますが、
先発医薬品と異なる添加剤を使用することが
あり、飲みやすいよう剤形や味等を改良した
製品もあります。もちろん、添加剤も安全性が
確認されたもののみが使用されています。

参考：ジェネリック医薬品への疑問に答えます～ジェネリック医薬品Q&A～（厚生労働省HPより）

お問い合わせ先 大阪府健康医療部生活衛生室薬務課医薬品流通グループ
〒540-8570 大阪市中央区大手前2-1-22 大阪府庁本館6階
TEL.06-6944-7129

R6大阪府「薬と健康の週間」実行委員会ポスター



大阪府薬剤師会会長賞
川口 典子さん
その他の入賞作品など
詳細はこちら
大阪府 薬と健康



R6厚生労働省「薬と健康の週間」ポスター



ご清聴ありがとうございました

「©2014 大阪府もずやん」